

# ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011

東京都昭島市上川原町1-9-15

電話：042-542-5160

食工房ゆいのもり

TEL 042-542-5160

社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

TEL 042-542-5160

ザ・サードゆいのもり社

田中町事業所

TEL 042-542-6776

ザ・サードゆいのもり社

つつじが丘事業所

TEL 042-545-5451

## 障害者自立支援法移行とこれから

ゆいのもり福祉協会 理事長 川杉萬吉

日頃は「ゆいのもり福祉協会」の運営について格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で平成22年4月より、障害者自立支援法の事業（就労移行支援、就労継続B型）に無事移行を完了いたしました。事業所への収入が、日々の参加者数に応じて変化する日額計算になるために、利用実績の低下に心配をしておりましたが、地域から多くの利用希望があり、新たにつつじが丘ハイツに事業所を開設することができました。また、生活に役立つプログラムを工夫した結果、就労移行1年目は移行前年の利用実績を上回ることができました。

就労移行事業では、一人でも多く就労に繋ぐよう支援を強化してまいりました。自立生活実現を喜ぶ

一方で、就労準備過程や就職者の施設退所欠員により、収入が落ち込むという運営上の困難も経験しております。とはいえ、全体的には、障害者の自立についての各種事業は順調に推移しております。

これらをより一層推進するため、次の事柄を実施してまいりたいと存じますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

- 現在の2事業所（食工房ゆいのもり、ザ・サードゆいのもり社）を3事業所化し、全体の定員規模の拡充
- 工賃アップ、高齢化、生活訓練等の新たなニーズへの対応
- 利用者サービスの向上を図るため職場環境の整備と人材育成
- 活動を支える財政の安定と事務機能の強化

### ホームページが新しくなります！

ゆいのもり福祉協会のホームページを新たに作成中。法人概要、各施設の事業案内をはじめ、「カフェ パンひろば」「手作りのお店ゆいのもり」「喫茶 森」のお店の紹介もしております。ぜひ一度ご覧ください。2011年10月下旬以降

「ゆいのもり福祉協会」で検索

### ゆいのもり通信NO. 18 \*目次\*

巻頭言「障害者自立支援法移行とこれから」	1
2010年度法人・各施設報告	2
職員紹介・ゆいのもり商品PRコーナー	3
特集ページ「ゆいのもり」のこれからを語ろう！座談会 & 就労支援特集	4, 5
2010年度事業・収支状況報告	6, 7
「ゆいのもり」とともに歩む・寄付報告のページ	8

## ゆいのもり福祉協会 法人本部



### 「地域生活ガイドブック昭島版」が完成

編集・発行が「昭島市障害者（児）ネットワーク精神部会」、監修と印刷製本が昭島市という協力のもとで遂に完成しました。

問合せ：昭島市保健福祉部障害福祉課  
042-544-5111 へ

### 「全国社会就労センター」に加盟

新たに「障害者総合福祉法」が検討されています。より速く正確な情報を得ていきます。

### 新人職員5名

時に悩みながらも明るく元気に働いています。各職場がフレッシュになった感じがします。

## ザ・サードゆいのもり社 つつじが丘事業所



### 手作りのお店がはじまりました。

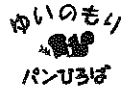
昨年6月につつじが丘ハイツに手作りのお店「ゆいのもり」を開店し1年が過ぎました。おかげさまで、パンやお弁当、豆腐などを買いに来てくださるお客様に喜ばれて、順調に営業しています。

利用者さんにとっても、今まで、室内作業中心だったかたが、パンを袋につめたり、トレーを洗うなどお店の仕事をおこなうようになり、仕事の幅がひろがりました。

### 作業場面で活躍中です

つつじが丘事業所の登録者は、現在57名（8月1日）。保健福祉センターの清掃、花壇、ピップでのダンボールつぶし、室内作業などいろいろな作業をおこなっています。新人職員が場をもりあげて、毎日たくさんの方の利用者さんでにぎわっています。

## 食工房ゆいのもり



### カフェサービス向上

ギターアンサンブル「ハミング」さんやシャンソン歌手「湯川あき」さんのコンサートなどイベントにもご利用いただき、より充実したサービスを目指しています。

### 就職者2名、活躍中

障害者自立支援法へ移行したことで就労支援を達成すべく利用者、職員ともに頑張っています。施設外の委託訓練などを活用し、2名メンバーの就職が決まりました！そのことに刺激を受けて他のメンバーも続々と就労に向けて活動中です。

### プログラム、工夫しています

プログラムにも今まで以上に力を入れています！各種レク以外にもウォーキングや健康講座、生活力を高める学習講座など盛り沢山のプログラムを企画しました。

## ザ・サードゆいのもり社 田中町事業所



### 新規利用者8名

喫茶、厨房に新しい顔ぶれが増え、順調に仕事をこなしていきました。

### パソコン教室始まる

ボランティアさんに来ていただきメンバー6名で開始。パソコンに触れたことのない方たちが、インターネットや詩を入力したり、自信をつけてきています。

### お弁当事業

つつじが丘事業所へ週1回お弁当を置かせてもらっています。おかげさまで順調な売れ行きです。

### レクリエーションの充実

新人職員2名が入り、レクも広がりを見せ、パティシエクラブ（作って食べよう美味しいスイーツ）が盛況です。

## 新入職員2名(2011年4月入職)の紹介&各事業所職員一覧

まつだ あ ゆ  
松田亜侑さん

ザ・サードゆいのもり社  
つつじが丘事業所



戸惑うことが多い毎日ですが、皆さんに助けてもらい楽しくお仕事をしています。これからも頑張りますのでよろしくお祈りします。

特技：書道 座右の銘：明日は明日の風が吹く

いのまた ま ゆき  
猪股真幸さん

ザ・サードゆいのもり社  
田中町事業所



まだ不慣れな所もありますが多くの方に支えられ、毎日楽しくお仕事をしています。これからも頑張りますのでよろしくお祈りします。

特技：弓道 座右の銘：全力投球

### 【2011年4月1日現在 職員配置状況】

ザ・サードゆいのもり社 つつじが丘事業所

#### ■常勤職員■

吉田智子(施設長) 田中健 石井一輝  
松田亜侑

#### ●非常勤職員●

寺島廣司 中司睦美 川村亜有美 杉本芳江  
銭村辰夫 小倉洋雄 指田きみ子、小松滋  
福田弘子

ザ・サードゆいのもり社 田中町事業所

#### ■常勤職員■

奥田友子 浅川勤(法人事務局長)  
安藤聡美 横倉彩乃 猪股真幸

#### ●非常勤職員●

池嶋 和子 横田尚美

食工房ゆいのもり

#### ■常勤職員■

嶋田敦子(施設長) 田中彰(主任) 近藤貴代子  
黒木まゆ美 相川沙織 日向弘樹

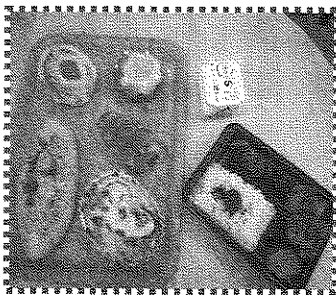
#### ●非常勤職員●

芝田真理子 宮尾久仁子 高橋庸子 高橋たえ  
片岡菊美 澤邊美津子 岡本綾野 佐々木章子  
澤井かよ子 吉田浩子

ご来店をお待ちしております！ ☆ゆいのもり商品PRコーナー☆

手作り、集めました！ 市役所のオアシス

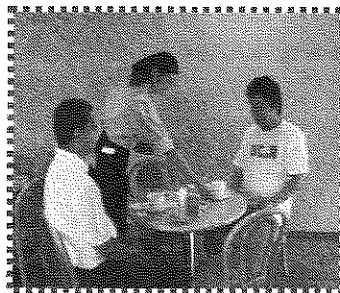
弁当・パン・とうふ



手作りのお店ゆいのもりが開店して1年経ちました。パンとお弁当を日替わりで販売しています。とおんさんのとうふ製品も好評です。

つつじが丘事業所

ランチ・ケーキ・コーヒー

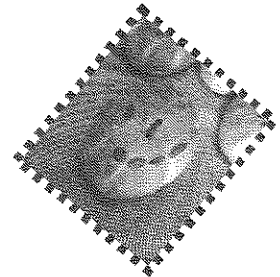


昭島市役所1F 喫茶森では、手作りケーキや日替わりランチをご用意しております。ご家族やお友達とぜひお気軽にお越しください。

田中町事業所

色々あります、季節メニュー

ハロウィンパンプキン 10月



パンひろば「ゆいのもり」の食べるには勿体ない、かわいらしいスマイル☺ それを乗り越えてパクン！おいしくて恋する乙女のような幸せな気持ちになれます♥

食工房ゆいのもり

# 「ゆいのもり」のこれからを大いに語ろう!

# レポート 座談会

去る8月20日にメンバーの方6名に集まっていただき、「ゆいのもり」のこれからについて語っていただきました。(浅川 法人事務局長 記)

(イラストは人物と関係ありません。http://www.fumira.jp/cut/より転載)

【参加者紹介】



**伸一郎さん (50代)**  
ゆいのもりに通って15年  
読書とスポーツが好きです

規則正しい生活  
作業で学び体力をつけること  
で社会にできるウーミングアップ。  
友人ができ、世間話をする  
ことでリハビリになる。  
ネットワークが完備

**茂治さん (30代)**

ゆいのもりに通って1年半  
楽しいことは、ゆいのもりに  
通うこと、音楽、ドラマ  
を見ることです。



仲間・話相手ができ、  
精神が安定  
生活リズムが整う。

規則正しい生活に  
役立つ。  
孤独にならない。



**アキコさん (40代)**  
ゆいのもりに通って7か月  
ゆいのもりに通うことが楽しみ  
です。映画も好き、「人生ここに  
あり」は面白かったです。

コミュニケーション  
が楽しい。緊張し  
ないで無理のない  
仕事ができる。行っ  
たことのない所に  
レクで連れてって  
もらえる



仲間・知人が増えた。  
通うのが楽しい。  
ボーナスが励みになる。

**慶江さん (40代)**

ゆいのもりに通って1年8か月  
音楽、テレビ、絵を描くことが  
楽しみです。



**信之さん (50代)**  
ゆいのもりに通って7年  
テレビと音楽が趣味です。

司会者◇相川  
ゆいのもり入職2年目



**淳治さん (30代)**  
ゆいのもりに通って3年9か月  
音楽、読書、ショッピングが趣味です。

色々な作業がありゆったりしている  
情報が得られ、相談できる。社会性が磨かれる。  
障害があっても就職のことが学べる。  
レクも目白押し。

コメンテーター◇浅川 法人事務局長  
ゆいのもりを始めて23年

今回座談会プロデューサー◇嶋田  
ゆいのもり入職18年

■司会者 ゆいのもりは開設されてからすでに20年以上経過しました。これから「ゆいのもり」で中長期計画を立てるにあたり利用者皆様の意見をお聞かせいただきたいと思ひます。まずこの座談会の前に、「ゆいのもり」で浅川さんが大切にしてきたこととお話してください。

●浅川 開設は平成元年です。その当時は地域には、「屋間の行く場」がありませんでした。そのため、昼夜逆転し治療が滞り再入院してしまうことが多くありました。そこで、まずは行く場・居場所を作ろうと思ひました。そこでは、メンバーとスタッフが上下関係ではないこととメンバースタッフ間およびメンバー同士の相互支援の関係を大切にしました。作業を開始してからは、「働くこと」がとても回復に役立つことを実感しました。作業所を増やす途上では、選択の幅が広がるように、「異なる作業と活動」の場を増やしていくことを心がけました。

■司会者 ゆいのもりの歴史とここまで支えてくださった地域の暖かさを感じました。同時に、今も病気や障害と向合い様々な葛藤を繰返しながら生活を精一杯されている仲間のことを考えなければならないことも感じました。「ゆいのもり」のこれからはどんなことができるでしょうか。参考のキーワードは「作業・工賃」「健康と安心」「仲間づくり」「就労と学習」です。「こんなことをしてみたい。こんなことが実現できたら良いと思う。」などご

複数の作業種目と学習環境

年々高まった時に集まれる場の提供

対話と仲間づくり

意見をお願いします。

◆伸一郎さん 「作業・工賃」では、時給の良い仕事で稼ぎたいですが体調に合わせて働く時間数を変えたいです。健康面では朝散歩をしたいので早く寝ています。生活リズムに利用したいです。

◆慶江さん 「作業・工賃」では、パンを仕上げる仕事をしたいし工賃アップもしたい。就職目指して企業見学に行きたいです。高齢になっても、伴侶とかルームメイトがいるといいなあと思ひます。

◆信之さん 「健康と安心」では、65歳以上になっても集まれる場がほしいです。

◆茂治さん 「仲間づくり」について、友達作りが得意ではありません。話す人がいないと辛いです。一緒に作業やレクをすると、共通の話題ができ話しやすいです。

◆アキコさん 「就労と学習」について、学歴が中途半端なので仕事に必要なことを学んでいきたいです。仕事の適正とか隠れた才能とか発見できるように支援してほしい。今は無理のない仕事を練習としてやっています。将来、障害に合わせた仕事に就きたいです。「仲間づくり」では、外で顔見知りにあつてあいさつできるとうれひです。

◆**淳治さん** 「就労と学習」では、色々な作業が経験でき、ピアスでの委託訓練、国立市役所でのチャレンジ雇用が自信になり達成感が強いです。外での実習、オープンナーというような支援機関と連携しながら支援できる体制を維持し続けてほしいです。

就労と学習

最後4つめは、「健康と安心できる生活のサポート」です。特に年をとった時、どのように生活していけばよいのか、相談・サポートできる体制が求められています。地域と連携しつつ必要な資源を整えていかななくてはなりません。

■**司会者** 良い意見ありがとうございます。

浅川さん、まとめていただけますか。

●**浅川** 自立生活は大きなテーマですね。1つめ「自立生活に向けての就労と学習の機会」は重要なテーマです。皆さんがゆいのもりに来て「仲間と出会えてよかった」と感じたように孤独であることは耐えられないことです。2つめ「一人ぼっちにならないための対話と仲間づくり」も忘れてはなりません。安心して集いお互いの在り方を尊重できる場がこれからも続けていけたらと思います。作業とレクもよいコミュニケーションのための大切な機会だと思いました。3つめは、「作業・工賃」です。ゆいのもりでは、清掃・内職・花壇・物流センターでの作業・調理・喫茶店・パン作りなどいろいろあり、その方にあった時間数等考慮しながら進められていますが、単価が安いです。皆で考え工夫して工賃を上げていく取組に努力していきたいです。

障害を理解する人を増やす

◆**アキコさん** もうひとつ、障害を理解する人を増やしてほしいです。

●**浅川** そうですね。「障害を理解する人を増やす」を5番目にしましょう。

■**司会者** 貴重な意見ありがとうございます。皆様からいただいた意見と言葉を、ゆいのもりの中・長期計画づくりの中で深めていきたいと思えます。本日は皆さん長時間ありがとうございました。

今回提案された、「ゆいのもり」に求める5つ

1. 自立生活に向けての就労と学習
2. ひとりぼっちにならない対話と仲間づくり
3. 複数の作業種目と工賃増額
4. 親亡き後への支援と年をとった時に集まれる場の提供
5. 障害を理解する人を増やす

## 就労支援特集

### 就労プログラムと個別訓練で就労に一步近づく

2011年4月より始まった就労移行支援事業は2年目を迎え、2011年8月時点で2施設合わせて5名の方が就労を実現しました。

就労移行支援を希望するメンバーは2施設合計で21名(2011年8月現在)。毎月の「就労プログラム」では就労支援機関から講師を招いて行う「ビジネスマナー講座」や「履歴書の書き方講座」などに加え、4月は「ハローワーク立川」見学、5月は特例子会社「キューピーあい」(町田市)見学、6月は東京体育館メインアリーナで開催された「障害者合同就職面接会」への参加、8月は八王子市にある就労移行支援事業所「ジネス」の見学などを行ってきました。

参加者からは、「障害のあるなし、学歴、年齢に関係なく昇格できるところに希望を感じた(特例子会社見学)」、「面接の雰囲気も味わえて、緊張感がもてたのでよかった。現実感がわいた(合同面接会見学)」などの感想が寄せられました。

3カ月ごとに就労準備性のチェックと面談を行い、個別支援計画の作成を行っています。課題があればそれに沿って、たとえば挨拶が苦手な方は挨拶を、体力不足が課題の方は清掃作業などで体力をつけていただくなど、ふだんの作業の中でも訓練していきます。

就労準備性がある程度整うと、次は近隣の就労支援機関やハローワークの専門援助部門の支援のもとに、東京都が行う「障害者委託訓練」や職場実習を受けるなど、就職に向けて動き出していきます。

(黒木まゆ美(就労支援担当職員)記)

## コラム

### チャレンジ雇用で得た手ごたえ 薬袋淳治(食工房ゆいのもり)

委託訓練がおわり、就職活動を始めるにあたって「チャレンジ雇用」という制度を利用してK市役所で3カ月間働いてきました。委託訓練を行った支援機関からいただいたお話です。家族や担当職員に相談し、職場体験が必要だということになり、チャレンジしました。

働いてみて良かった点は、福祉施設では経験できないスケールの大きな仕事に携わり、自分の中に眠っていた仕事を遂行するための精神力や行動力が自分でも驚くほど発揮できた点です。指導員や先輩、後輩と共に創意工夫をしたことは何物にも代えがたい貴重な体験でした。この経験を職務経歴に加えることができ良かったです。

2010年度 事業報告一覧

【ゆいのもり福祉協会（法人本部）】

法人全体計画：障害者自立支援法による各施設のサービスをニーズに対応して提供出来るようにする。	法人全体報告：障害者自立支援法による事業開始、つつじが丘事業所開始、5名の新人職員の育成という課題をこなした1年であった。
法人本部計画：社会就労センターへの加入、利用案内の作成とホームページの管理委託、公的作業受託の可能性の検討、規程類の見直しと改正等。	法人本部報告：社会就労センター加入済、利用案内の作成とホームページの管理受託を行った。公的作業の受託と規程類の改正は見送ることとなった。

【ザ・サードゆいのもり社、田中町事業所、つつじが丘事業所】

活動内容	作業活動	昭島市保健福祉センター清掃、定期清掃（ワックス）、花壇管理、企業内作業、室内作業、牛乳パック回収、手作りのお店（つつじヶ丘店）の営業、喫茶森（昭島市役所内）の営業			
	食事作り	火・木にメンバーと職員でつくる、1食250円。カレーライス、けんちんうどんなど。1回20食程度。			
	ミーティング	保健福祉センター清掃について（つつじが丘事業所にて月1回）、行事について（つつじが丘事業にて2カ月に1回）、サードミーティング（田中町事業所にて月1回第1水曜午後）			
	行事	外食、日帰りのおでかけ、一泊旅行、スポーツ等			
	手仕事クラブ	編み物などの創作活動。ボランティアさんが指導。（月2回程度金曜日）			
	きこり会	メンバーの自主活動による話し合い（月1回）			
事業計画	1. 障害者自立支援法の事業を軌道にのせる。2. つつじが丘団地への移転と店舗の営業の開始。 3. 保健福祉センター清掃の安定した受託と活用 4. 新人職員が慣れたら、お弁当事業を無理ない範囲ではじめてみる。				
事業報告	障害者自立支援法による事務業務を混乱なく進められた。2010年6月より、「手作りのお店ゆいのもり」をつつじが丘団地6号棟に開店できた。保健福祉センターで委託訓練生の受け入れができた。田中町ではお弁当事業の試行を開始することができた。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	8人	13人	1056人	244日	4.3人
就労継続	32人	72人	9077人	244日	37.2人
工賃状況	授産総売り上げ	工賃総額（A）	工賃支払社延べ人数（B）	平均月額工賃A/B	
	20,702,795円	5,819,299円	917人	6,346円	

【社会就労センターゆいのもり】

活動内容	作業活動	パンカフェ作業、企業内作業、館内清掃、事務業務、案内業務			
	必修	利用者ミーティング（月1回）、防災訓練、食品衛生および感染症の講座、等			
	社会性向上	就労移行プログラム、就労準備性向上プログラム、生活スキル向上プログラム			
	健康増進	健康プログラム、スポーツ、レクリエーション、一泊旅行、もちつき、等			
事業計画	1. 障害者自立支援法に基づく安定した施設経営を行う。2. 就労移行、就労継続毎の利用者支援方法を確立する。 3. 職員の適切な業務遂行を目指す。				
事業報告	1. 新制度への対応や日常会計業務の安定処理などの課題に取り組んだ。利用者のニーズに沿うプログラムの提供を行った。 2. 「就労移行」「就労継続」ともに職員との信頼関係を大切に、個別支援計画に基づき「就労支援」「地域生活支援」を行った。 3. 職掌分担に基づき新入職員と経験職員が協力して、業務を遂行した。新たに配置の主任のリードにより業務がすすめられた。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	7人	10人	2010人	288日	7人
就労継続	13人	26人	3818人	288日	13人
工賃状況	授産総売り上げ	工賃総額（A）	工賃支払社延べ人数（B）	平均月額工賃A/B	
	11,159,956円	3,000,740円	381人	7,856円	

2010年度 収支状況報告一覧

ゆいのもり福祉協会貸借対照表(平成23年3月31日)

資産の部			負債の部		
科目	当年度末		科目	当年度末	
流動資産	58,921,601		流動負債	4,286,537	
現金預金	36,259,344		未払金	3,401,109	
原材料	925,080		預り金	864,076	
未収金	21,670,007		仮受金	21,352	
前払金	67,170		固定負債	6,240,000	
			設備資金借入金	6,240,000	
固定資産	220,816,481		負債の部合計	10,526,537	
基本財産	189,982,643		純資産の部		
その他の固定資産	30,833,838		基本金	45,813,046	
			国庫補助等特別積立金	127,735,171	
			その他の積立金	4,200,000	
			次期活動収支差額	91,463,328	
			純資産の部合計	269,211,545	
資産の部合計	279,738,082		負債および純資産の部合計	279,738,082	

ゆいのもり福祉協会 資金収支状況一覧表(平成23年3月31日)

勘定科目		予算	決算	差異	
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	31,836,000	32,370,281	△734,281
		就労支援事業収入計(1)	31,836,000	32,370,281	△734,281
	支出	就労支援事業支出	32,611,000	31,525,529	1,085,471
		就労支援事業支出計(2)	32,611,000	31,525,529	1,085,471
	就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△975,000	844,752	△1,819,752
福祉事業活動による収支	収入	自立支援費収入	102,611,000	108,658,579	△6,047,579
		利用料収入	430,000	447,753	△17,753
		その他の事業収入	3,485,000	3,712,328	△227,328
		経常経費補助金収入	14,112,000	14,112,000	0
		寄付金収入	1,850,000	1,864,250	△14,250
		雑収入	422,000	457,170	△35,170
		借入金利息補助金収入	80,000	80,080	△80
		経理区分間繰入金収入	14,720,000	14,720,000	0
	福祉事業収入計(4)	137,710,000	144,052,160	△6,342,160	
	支出	人件費支出	71,368,000	69,548,303	1,819,697
		事務費支出	15,833,000	14,497,045	1,335,955
		事業費支出	9,491,000	8,310,519	1,180,481
		借入金利息支出	340,000	333,362	6,638
		経理区分間繰入金支出	15,220,000	15,220,000	0
福利事業支出計(5)		112,252,000	107,909,229	4,342,771	
福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)		25,458,000	36,142,931	△10,684,931	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄付金収入	600,000	600,000	0
		固定資産売却収入	8,000	8,000	0
		施設整備等収入計(7)	608,000	608,000	0
	支出	固定資産取得支出	11,500,000	11,323,636	176,364
		施設整備等支出計(8)	11,500,000	11,323,636	176,364
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)		△10,892,000	△10,715,636	△176,364	
財務活動による収支	収入	借入金収入	9,000,000	9,000,000	0
		財務収入計(10)	9,000,000	9,000,000	0
	支出	借入金元金償還支出	10,040,000	10,040,000	0
		積立預金積立支出	1,600,000	600,000	1,000,000
		財務支出計(11)	11,640,000	10,640,000	1,000,000
財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)		△2,640,000	△1,640,000	△1,000,000	
予備費(13)		25,351,000		25,351,000	
当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)		△14,400,000	24,632,047	△39,032,047	
期末支払資金残高(15)			29,077,937	△29,077,937	
当期末支払資金残高(14)+(15)		△14,400,000	53,709,984	△68,109,984	



この町の歩みと「ゆいのもり」

野崎寅治（上川原町16区自治会 相談役）

わたしは当地16区に昭和29年12月より生活を始める事になりました。当時はまだ道路もなく一面苗木畑で四季折々の花に彩られたのどかなたたずまいだったのを思い出します。次々と宅地化されて家が建ちにぎやかになったのですが、市の財政は厳しいのか、雨が降ると泥んこ道風が吹けばほこりまみれ、街灯もなくいわんや下水道などまったく整備されておりませんでした。

昭和34年私は上川原自治会区長となり、秋の日枝神社の祭礼も一緒にすることになり祭典用子供山車を皆様と作ることが出来ました。それ以降、皆様の気持ちも一つになり、賑やかな祭が続いています。又、35年度に軒数だいぶ多くなりました。

中村敬允様夫婦の協力に依り、広い庭で親子初めての庭園パーティーを開き、一日中皆様と楽しく出来ました。その場所は現在の「食工房ゆいのもり」辺りです。以降数回やらせていただきました。いまでも忘れる事はありません。

また、現在の集会所ですが、中村敬允さんよりこの場所につくりましょう。と決定され、会員皆様のご協力に依り完成し現在なくてはならない建物です。

また、現在のゆいのもり建設について佐々木さん姉妹が私の家までおいでになり、「福祉協会食工房を建設したいので、区の皆様の了解を得たいです。」とお話がありました。早速役員会又区の皆様も一日も早く開店してくださいませよう、お話ししました。16区一同「ゆいのもり食工房」の益々のご発展をお祈り致します。

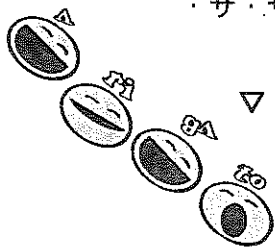
▼賛助会からのご寄付▼

平成22年度「ゆいのもり賛助会」から以下のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

- ・施設整備借入金返済のために 600.000円
- ・ザ・サードゆいのもり社つつじが丘事業所開設のために 1,000.000円

▽「ゆいのもり福祉協会」へのご寄付▽

- ・東京都共同募金会より 450.000円
  - ・個人寄付 326.000円
- ありがとうございました。



\*編集後記\*

★多誌面をリニューアル致しました。いかがでしょうか？（昭島のくいたん）

★多「ありがとう」がいっぱい詰まった通信です（オアシスの店員） ★多字数も思いも詰めてみました。（黒パン屋）

★多たくさんの方に協力してもらい、ありがとうございました。（群馬のまっちゃん） ★多人生にも原稿も切にも遅れてしまった。（パブロフ）

あの時の出会いが作業所づくりの出発点だった

飯島みつえ（元昭島保健相談所 保健師）

今から25年前のある夜、私たちはわくわくして初対面の青年を待っていた。バイクで颯爽と現れたのが若き浅川青年と井上さん。熱い夢を秘めていた。当時、昭島には「社会復帰施設」は何も無かった。唯一立川保健所のDCがあったが、この地に「でかけられる場」が欲しい等の切実な状況に、保健所では一室を「いこいの場」として提供し始めていた。いつかここが踏み台となって、昭島の中に何か<sup>●●</sup>が生まれてほしいとの願いをこめて……。そんな時、現れてくれたのが2人<sup>●●</sup>だった。何か<sup>●●</sup>が見えてきた。2人は現実の苦勞を楽しみに変え、人が人を呼び、あつという間に「作業所をつくる会」を発足させたのだった。

～近況報告&お知らせコーナー～

\*田中町事業所\*

☞週1回つつじが丘にてお弁当を販売しています。今後、より多くの皆様に提供出来るよう努めてまいります。

☞パティシエクラブやきこり会など、メンバーが中心となり定期的に楽しく活動しています。

\*つつじが丘事業所\*

☞おいしい手作り品を取り揃えて、皆様のお越しをお待ちしております。ぜひ、足を運んでください。

\*食工房ゆいのもり\*

☞「虹のセンター25」さんとの協力により、「カフェパンひろば」にて「手作りピーズ品」販売を10月より開始します。

☞近藤貴代子職員は育児休業後、9月より職場復帰しました。

東日本大震災により被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。食工房ゆいのもりからは、義援金として21,890円を赤十字社へ、ザ・サードゆいのもり（田中町事業所）からは、13,826円をあみ・コンボ共同 地域精神 保健福祉活動復興の為の義援金活動へ送金致しました。